

# きずな協働体通信

このコーナーでは、市内9地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

## にっこばふれあい食堂再会！！



地域の活動拠点：西小林地区公民館  
さまざまな方々と連携して実施しています

コロナ禍で休止していた「にっこばふれあい食堂」ですが、今年度は一年を通して偶数月の第一土曜日に開催することができました。

まず、青少年育成部会員と子どもたちが一緒にシャボン玉やボード遊びを楽しんだ後、11時から女性部会員手作りのご飯をみんなで一緒にいただきました。

18歳以下は無料とし、大人はふれあい食堂の運営に充てるために300円からの寄付をお願いしています。

この活動を通して、子どもから大人まで地域内のさまざまな世代が交流し、支えあいの下地となることを目指して活動を続けていきます。

にっこば  
まちづくり協議会

南校区  
まちづくり協議会

## 南校区&小林小校区まちづくり協議会コラボイベント



NPOパートナーシップ創造事業補助金を活用した取り組みです

1月18日、子どもたちに全国トップレベルの魅力的なパフォーマンスに触れてもらおうと、南小と小林小の両校区のまちづくり協議会が協力し、専修大学熊本玉名高校の吹奏楽部「Ventures」を招待した合同スクールコンサートを初開催しました。

当日は文化会館を会場に、南小と小林小の4、5、6年生と地域住民を招待。約450人が迫力あるステージを楽しみました。

45人の部員による金管楽器と打楽器の一条乱れぬ演奏や、色鮮やかな旗を使ったカラーガードのパフォーマンスなどが次々と披露されると、観客からは大きな歓声や拍手が送られていました。

## 自治会（区・組）に加入しましょう

3月〜4月は自治会（区・組）加入促進月間です。

自治会（区・組）は、同じ地域の住民が自主的に運営し、お互いの助け合いの心から生まれた最も身近な組織です。

各地域にあるごみ集積所の維持管理や地域の清掃活動、子どもたちの登下校時の見守り活動、災害時の協働作業などの地域活動を通して、近隣住民がいざというときに助け合えるのが自治会です。

加入方法や区費・組費についてなど、分からないことがあれば最寄の区長・組長にご相談ください。

その他、「自分が住んでいる区がどこか」、「区長がだれか分からない」など、ご不明な点は地方創生課までお問い合わせください。

区・組への加入をお願いします。

●問Ⅱ区長会事務局（地方創生課）  
Tel 23・1148



④e コミュマップ（タブレット・PCでの閲覧推奨です）、⑤区・組加入申し込みフォーム



## 授業論文表彰式

市内小中学校から応募33編

授業論文は、教職員の資質向上を図り、学校教育の充実と発展を目指して募集しています。

授業1単位時間（小学校：45分、中学校：50分）の様子を記録した映像と補足資料をもとに、宮崎大学、宮崎県教育委員会の協力のもと、審査を行い各賞を決定し、2月7日に表彰式を行いました。

今年度は、個別最適な学びの実践に取り組んだ授業や、主体的な学びを促す授業実践が多く見られました。

### 授業論文（映像記録）※敬称略

一席	野尻小学校	教諭	津曲のぞみ
二席	西小林小学校	教諭	尾原 恵
三席	西小林小学校	教諭	齋藤 リカ
奨励賞	小林小学校	教諭	田畑 安斗里
〃	西小林小学校	教諭	橋口 伽奈子
〃	三松小学校	教諭	池之上 優希
〃	野尻小学校	教諭	志水 一郎
〃	野尻小学校	教諭	若屋 優子

### 学校の部

学校賞	野尻小学校	（校長 柏木 賢）
躍進賞	西小林小学校	（校長 野添 和洋）



### 授業論文一席 野尻小学校 津曲のぞみ教諭

【研究主題】  
生き生きと自分の思いや考えを表現出来る児童生徒の育成  
～「わかった！できた！」と学ぶ喜びを味わえる国語科の授業づくりを通して～

【授業のポイント】  
カタカナを使った文章を、自分でコースを選びながら主体的に書くことができるよう、個人やグループで学習する実践を行った。



### 授業論文二席 西小林小学校 尾原 恵教諭

【研究主題】  
自ら学び、考え、自己の生き方と向き合う力を育てる道徳科授業の創造  
～考え、議論する実践を通して～

【授業のポイント】  
道徳の授業において、授業の導入や板書、発問や賞賛の仕方を工夫し、自己の生き方と向き合いながら、考え、議論する道徳の授業実践を行った。

※これまでの優秀な授業論文の映像記録は、市立図書館で貸し出しを行っています



### 小中一貫教育実践発表（野尻中学校区）

【共通目標】  
未来を生きぬくための、確かな学力、豊かな心、たくましいからだをもった子どもの育成

【実践内容】  
野尻中校区3校が、「知育」、「徳育」、「体・食育」、「研究」の4つの部に別れ、小中一貫した目標の下3校協力した実践を行い、教育目標の実現に向けた実践を行った。



### 教育研究センター調査研究発表会

【研究主題】  
児童生徒の個別最適な学びを充実させる授業の在り方  
～各教科における授業実践とICT機器の活用をとおして～

【研究内容】  
児童生徒の主体性を高めるため、4つの班を編制し個別最適な学びについて共通理解を図り、教科の特性を活かした授業実践を行い、授業実践事例集を作成した。

いま、教育現場で求められている授業とは――

●問Ⅱ 学校教育課  
Tel 23・0424